

2022.1 きつ組

放課後等デイサービスガイドラインに基づく自己評価（2021年度）

放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき2020年10～11月に実施した自己評価の結果を下記の通り公表します。（アンケート回収率：保護者 51.2%、スタッフ 100%）

1. 保護者アンケートの結果

	保護者アンケートからの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	高い評価をいただいておりますが、『事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされていますか』については「どちらとも言えない」が5%程度ありました。保護者に対する説明が十分でないことが原因であると考えられます。	基準上配置すべき人員に加えて指導員を配置するとともに、発達支援センター全体のスタッフ間で連携しながら、より丁寧な支援につなげるよう、より一層努めています。また、送迎時等で会うことの少ない保護者と情報共有や交流ができるように電話連絡、ZOOM配信などの工夫をしていきます。
適切な支援の提供	『活動プログラムが固定化しないように工夫されていますか』については、「いいえ」というご意見が10%程度ありました。また、『地域やボランティア、他団体との交流など、事業所外のお子さんや人ちと活動する機会が仕組みられているか』については、「どちらとも言えない」25%程度「いいえ」5%程度「よくわからない」15%程度というご意見がありました。保護者に対する説明や共有が十分でないことが原因であると考えられます。	子どもたちの育ちを支援する場として、センターの各専門職とも連携しながら一人一人の課題を客観的に分析し、支援に活かしていけるように努めていきます。また、交流行事については、法人が行う感染対策のフェーズごとでできることを明確にし、子どもたちが安心して活動できることを考えながら工夫して取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	高い評価をいただいております。ただ、『保護者同士の連携の機会がありますか』については、「どちらとも言えない」15%程度、「いいえ」10%程度、「よくわからない」5%程度というご意見をいただきました。コロナ禍で仕方ないというご意見もありますが、保護者交流会を定期的開催できなかったことや内容について工夫して取り組めなかったことが原因であると考えられます。	保護者交流会や行事などを通して、保護者同士のつながりを深めていけるようにします。そのために、保護者の方に、保護者交流会での内容について、ご意見を聞きながら内容を考え、多くの方に出席してもらえるように工夫して取り組んでいきます。
非常時等の対応	避難訓練の実施については、「どちらともいえない」5%程度「よくわからない」10%程度でした。サービス利用開始前には説明していますが、実施後の報告ができていなかったことが原因であると考えられます	避難訓練については年2回以上、様々な非常事態ケースを想定して実施しています。実施後の報告をしっかりと行なっていけるようにします。
満足度	高い評価をいただきました。ただ、『おさんは通所を楽しみにしているか』については、「どちらともいえない」10%程度「よくわからない」5%程度、『事業所の支援に満足しているか』では「どちらともいえない」5%程度というご意見をいただきました。保護者に対する	私たちの支援内容について高い評価をいただいております。一方で、保護者に対しての説明や情報共有がしっかりできていないことなどが原因で、「よくわからない」「どちらともいえない」というご意見が昨年度よりも多くありました。また、アンケートの回収率も昨年度よりも回収率が下がっています。この結果を真摯に受け止め、今後も様々な機会を通じて保護者の方のご意見を伺うとともに、思いを共有するよう努めながら、支援のあり方を考えていきたいと思っております。

2. 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			コロナ対策をしながら、十分なスペースを確保し、活動内容によって室内空間の使い方を工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。必要に応じて、児童発達支援センター全体の職員間の連携を行いながら支援を行なっています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレ・階段・更衣室は車椅子に乗ったままでの利用は難しい状況です。視覚支援等を用いて利用しやすい環境づくりに努めています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の活動の目標接待については、その日のチームが行っています。振り返りについては、活動記録へ記入する、ミーティングをするなどして全員で確認するようにしていますが、スタッフ間の共有が十分でない時もあります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々のやり取りやアンケート等を通して、保護者の意見を受け止め、業務改善に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所での掲示とホームページでの公開を行なっています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価は行なっていませんが、年2回のセンター運営員会を実施し、外部有識者より事業へのご意見をいただき、業務改善につなげています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修の実施や配信を利用した外部研修に参加することで、専門性の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年度当初に社会力チェック表等を用いて課題の分析を行うとともに、子ども、保護者の思いにも寄り添いながら個別支援計画を作成しています。ただ、スタッフ間の共有がもっと必要であると感じています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査や社会力チェック表、基本的な生活習慣チェック表などを活用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームが中心に考え、全員で行うようにしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に沿った活動、お泊り会の実施、曜日等で活動を固定しないようにしています。子どもたちの気持ちを大切に行うことを心がけています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		その日の子どもたちの通所状況や最近の様子などを見ながら、毎日目標設定をして活動を行うようにしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画に様々な視点を取り入れて作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		その日のチーム（担当）が、活動内容を考え、法人全体のミーティング時に共有するようにしています。ただ、詳細の内容等については十分な打ち合わせをする時間が取れず、チームの判断で行うことがあります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後には、気づいた点については情報共有するようにしていますが、十分でない時もあります。

関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日子どもたちの活動の様子や内容などについて記録を残し、今後の支援に活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	担当者が6ヶ月に一度行っていますが、職員間での情報共有が十分でない時があります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		基本的な生活習慣の習得、社会力の発達に向けた取り組みのみならず、創作活動などのプログラムを行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校とは、電話や訪問にて、子どもの様子などについて情報共有するように努めましたが、十分でないこともありました。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療面での配慮が必要な場合は、当センターの保健師を中心に、主治医等と連携を図り、子どもへの対応について理解を深めるようにします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同センターの児童発達支援利用時の場合は、担当スタッフと情報共有を行っています。その他必要に応じて、相談支援専門員を通じて就学前の通所施設や他事業所等との情報共有も行なっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今年度は該当する子どもはいませんでしたが、必要に応じて、相談支援専門員と連携をしながら、関係機関へ必要な情報提供を行うようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		WEB配信の研修等へ参加したり、必要に応じて連携を図ったりしています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍の中で、WEB配信等を利用しながら、地域交流を行っています。	
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		当センターの相談支援専門員や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や電話連絡、個別懇談等を通して、子どもの様子や支援の方向性を共有するようにしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行うことはできていませんが、WEB配信を通して、保護者との交流を図っています。	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に契約書、重要事項説明書に基づき説明し、その後は、必要に応じて対応するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談支援専門員や介護福祉士などと連携しながら、子育て等の悩みや相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	WEB配信を通して、保護者との交流を図っていますが十分に対応できていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付担当者、解決責任者、第三者委員について、契約時の説明ならびに掲示により周知しています。苦情があった場合は、解決に向けて迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の予定表などで、活動の様子や今後の予定などをお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いには、十分注意することを法人職員全体で確認し、意識の徹底に努めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子ども一人一人の特性に応じて配慮するとともに、保護者へも丁寧な説明や情報伝達を心がけています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の公民館との共催で、音楽会や焼き芋大会を開催しました。また主催事業で餅つき大会も実施しました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルについては、スタッフ間で共有し、訓練等を通して、見直し等を行なっています。緊急ジオの対応については保護者に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の火災、地震訓練を行いました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部講師を招き、内部研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束の禁止について契約書に明記しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		年1回食物アレルギーについて保護者から聞き取るとともに対応が必要な子どもは、医師の指示書に基づく対応をするようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		発生したヒヤリハットについて、原因と対応を検討し記録に残しています。また、全スタッフ間で報告、共有しています。